

磐梯山の火山活動解説資料（平成 25 年 5 月）

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 21 年 3 月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 1～2①）

剣ヶ峰（山頂の北約 7 km）に設置してある遠望カメラによる観測では、山体北側火口壁からの噴気の高さは 50m 以下で噴気活動は低調に経過しました。

・ 地震や微動の発生状況（図 2②～⑥）

4 日、11 日及び 13 日に、いずれも継続時間 60 秒以下の振幅の小さな火山性微動が発生しました。火山性微動を観測したのは 2012 年 11 月 7 日以来です。火山性微動が発生した前後を含む今期間、空振計及び表面現象に変化は認められませんでした。

19 日及び 20 日に山頂付近を震源とする地震が一時的に連続して発生しましたが、今期間を通しての火山性地震は少ない状況となっています。

・ 地殻変動の状況（図 3）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

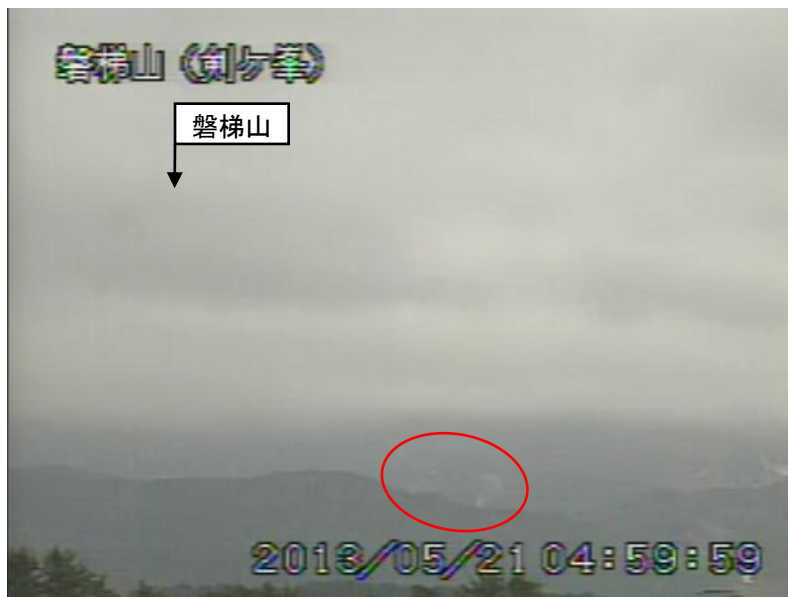


図 1 磐梯山 山体北側火口壁の噴気の状況（5 月 21 日 05 時 00 分頃）

- ・ 剣ヶ峰（山頂の北約 7 km）に設置してある遠望カメラの映像です。
- ・ 実線赤丸で囲んだのが、山体北側火口壁からの白色噴気で高さは 50m です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 25 年 6 月分）は平成 25 年 7 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。

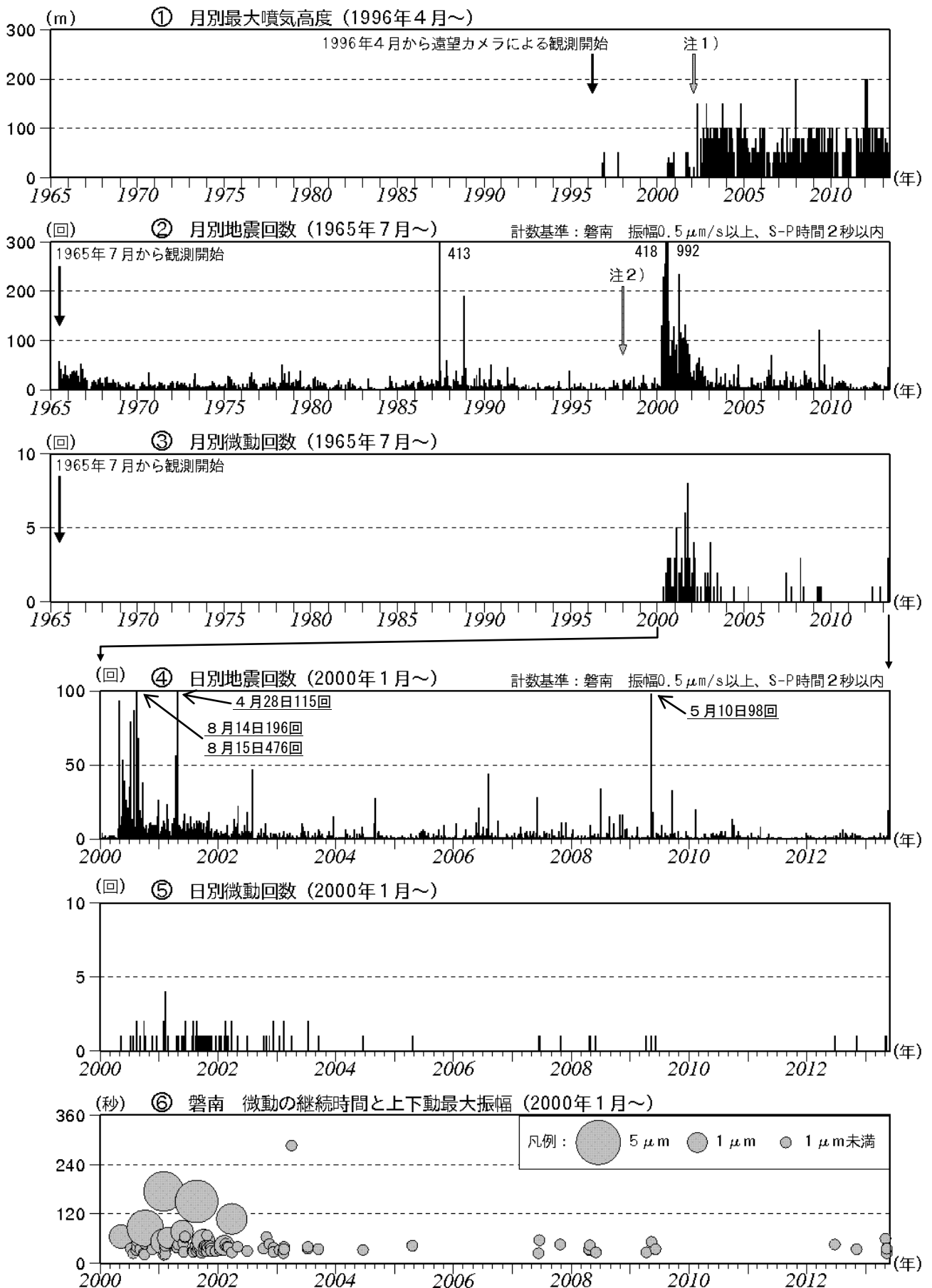


図2 磐梯山 火山活動経過図（1965年7月～2013年5月）

- ・①注1) 2002年2月以前は定時(09時、15時)及び随時観測による高さ、2002年2月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。
- ・②注2) 1998年より計数基準をS-P5秒以内からS-P2秒以内に変更しました。

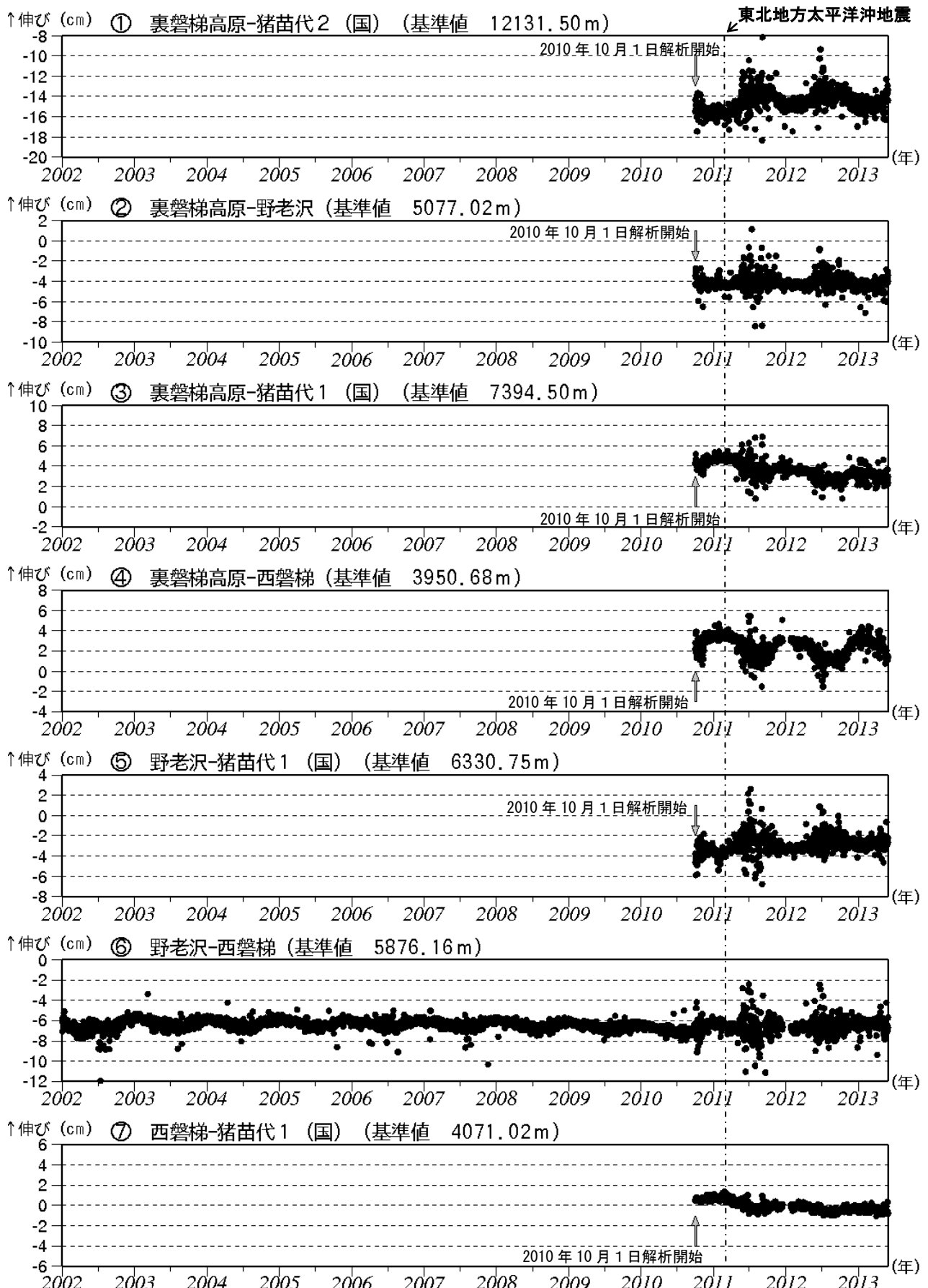


図3 磐梯山 GPS 基線長変化図 (2002年1月～2013年5月)

- ・2010年10月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。
- ・2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震に伴うステップを補正しています。
- ・①～⑦は図5のGPS基線①～⑦に対応しています。
- ・グラフの空白部分は欠測を表しています。

(国) : 国土地理院

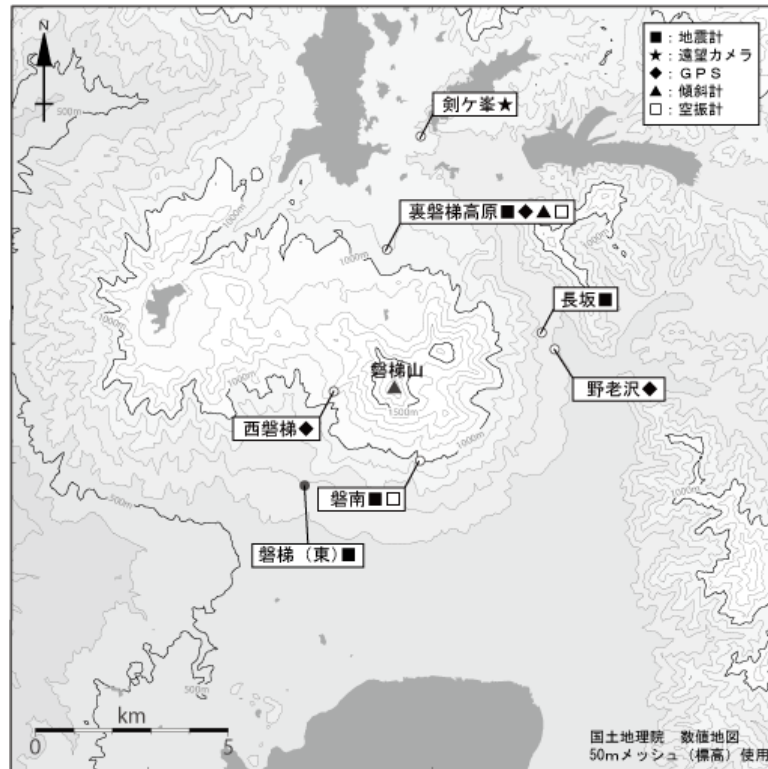


図 4 磐梯山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東）：東北大学

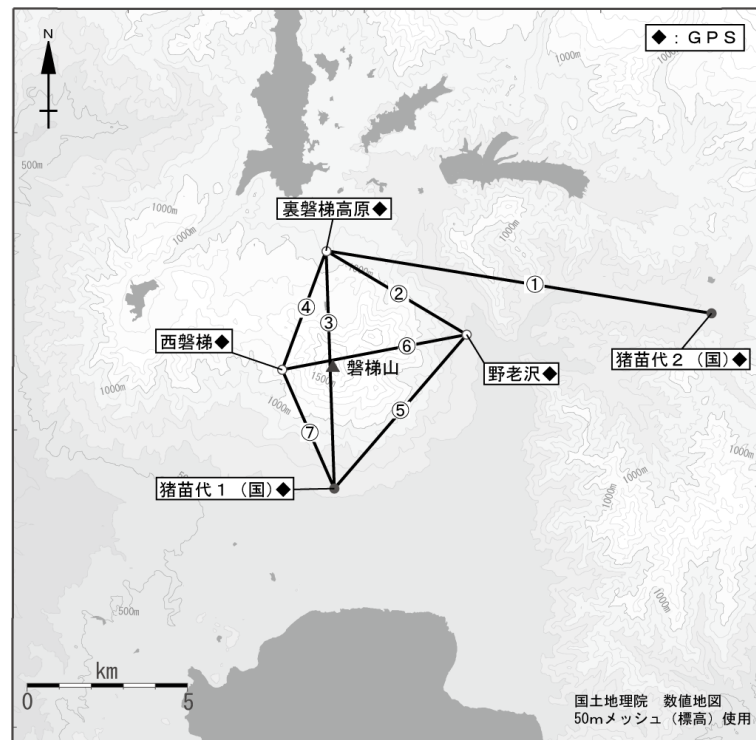


図 5 磐梯山 GPS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院